

## POD に採用された日本語

今 里 智 晃

1.1. 数ある英語辞書のなかで、*POD* には *COD* と並び日本人に熱狂的な愛用者がいる。特に *POD* はいわゆるポケット型と称される小型辞書であるため、限られたスペースに語義、用法、イディオムなどが極めて要領よく、しかも *COD* に比べると学習者にはにべもないほどいっそう凝縮した形で記述され、それが *POD* の大きな特色<sup>1)</sup>であると同時に魅力でもあり、レゾンドートルにもなっていた。しかし、これらの特色も1924年の初版から編纂者ファウラー (Fowler, H.W. 1858-1933) の方針を踏襲した1969年の第5版までで終わり、編纂者サイクス (Sykes, J.B.) により1978年に全面的に改訂<sup>2)</sup>された第6版では、序論 (INTRODUCTION) で「現代英語に関する有益な情報を最大限提示する」(to present the maximum amount of useful information on present-day English) と謳った通り、引き易さと利便さを前面に押し出した方針を採った<sup>3)</sup>。その結果、*POD* は編纂方針と記述方法において初版から第5版までと第6版から1992年に刊行された最新版の第8版までの2グループに大別することもできるのである。

1.2. *POD* 各版の特徴については先行研究<sup>4)</sup>もあるし、筆者自身も見出し語の取舍選択という点からすでに調査を試みた<sup>5)</sup>。その際、第8版で新語として収録された語句のなかに karaoke 「カラオケ」を見つけて大いに

驚いた。英米の辞書に収録された日本語といえば、例えば bonze「坊主」や sake「酒」などどちらかといえば古い時代に英語に借用されたものばかりだと思いついていたからである。いまやカラオケは日本の大衆文化のなかにすっかり根づいているし、国内ばかりかアジア、アメリカ、ヨーロッパ諸国にも日本人が行くところにはカラオケが輸出されていることを考えれば、この語が英語に借用されても不思議ではない。それでも、初版から第5版まで頑固なほど規範を重視し、それが「ファウラー色」とも言われるほど強烈な個性となっていた *POD* であるだけに、アメリカを含め他国の英語辞書に先駆けてこの語を最初に採用したことは画期的と評してもよいであろう。

1.3. では *POD* はこれまでどのような日本語を採用してきたのか。本稿では各版のうち初版(1924)、第4版(1942)、第5版(1969)、第6版(1978)、第7版(1984)、そして現行の第8版(1992)を対象にして、それぞれに収録された日本語(日本語起源の語を含む)のすべての単語を取り上げ調査してみた。どの語が何版で収録され、どの語が何版で削除されたか。他方、引き続き収録された語の場合でもどのような変化が見られるか、などについて考察するのが目的である。

2.1. 各版の本体部に見出し語で収録された日本語を数字別で見ると、次のようになる。

表 1

	初版	4版	5版	6版	7版	8版
主見出し	1 2	1 2	1 7	2 7	2 8	3 7
追い込み	0	0	0	4	2	2
計	1 2	1 2	1 7	3 1	3 0	3 9

2.2. 初版から第4版までは、辞書の本体部分は同じ内容である。何故な

ら、改訂といってもおもに補遺 (ADDENDA) 並びに略字 (ABBREVIATIONS) の部分に限った改訂増補に過ぎず、今日でいう全面改訂ではなかったからである。その証拠に、本体部の日本語はすべて同一であるが、補遺の部分に、

banzai 「万歳」、kakemono 「掛物 (= 掛軸)」、kimono 「着物」、  
obi 「帯」、tycoon<sup>6)</sup> 「大君」

の5語が新たに収録されているところが初版と異なる。なお、これらはすべて次の第5版で本体部の見出し語に「昇格」した。

2.3.1. 初版で収録された12語は、次のとおりである。なお、( ) 内の数字は *OED* 並びに *WNCD*<sup>9)</sup> に明示された初出年。

bonze 「坊主」(1588), daimio 「大名」(1727), geisha 「芸者」(1887), hara-kiri 「腹切り (= 切腹)」(1840), jinricksha, -rikisha 「人力車」<sup>7)</sup>(1874), ju-jutsu, jiu-jitsu 「柔術」(1875), mikado 「帝 (= 天皇)」(1727), netsuke 「根付け」(1883), samurai 「侍」(1874), Shinto 「神道」(1727), soy 「醤油」(1679), yen<sup>1)</sup> 「円」(1875)

2.3.2. このなかで Shinto と yen<sup>1)</sup> は、ともに語源が [Chin.] としてある。後者については第6版から [Jap.f.Chin.]<sup>8)</sup> と正確な表示に訂正されているが、前者は第8版でも依然として [Chinese] のままである。語義を見れば、

Shinto (初版) The native Japanese religion.

(8版) Japanese religion with the worship of ancestors

and nature-spirits.

と明らかのように、「神道」という日本固有の宗教の意味では中国語ではなく日本語として英語に借用されたのだから、適切とは言えない。やはり yen<sup>1</sup> にならい語源表示を [Japanese from Chinese] に直すべきである。ちなみに、*WNCD*<sup>9</sup>では語源は [Jpn] (= Japanese) となっている。

2.4. これに対して、現行の第8版には次の語が収録されている。( ) 内の数字は *OED* 並びに *WNCD*<sup>9</sup> に明示された初出年 (但し、初版から続いて収録されている語については、語義と初出年を省略)。

bonsai, dan 「(柔道の) 段」(1941), futon 「布団」(1876), geisha, go<sup>2</sup>, haiku 「俳句」(1899), hara-kiri, ikebana 「生け花」(1901), judo 「柔道」(1889), ju-jitsu, kamikaze 「神風」(1945), karaoke<sup>5</sup> 「カラオケ」, karate 「空手」(1955), kendo 「剣道」(1921), kimono 「着物」(1886), mikado, Nikkei index<sup>10</sup> 「日経インデックス」, Nip 「ニップ」(日本人に対する蔑称) (1942), Noh 「能」(1871), origami 「折り紙」(1922), rickshaw, sake<sup>2</sup> 「酒」(1687), samurai, satsuma 「温州みかん」(1882), shiatsu 「指圧」(1968), Shinto, Shintoism 「神道主義」(1857), Shintoist<sup>11</sup> 「神道主義者」(1727), skimmia 「(植)ミヤマシキミ」(1853), soy, sumo 「相撲」(1898), sushi 「すし」(1893), tempura 「てんぷら」(1920), tofu 「豆腐」(1880), tosa 「土佐犬」(1945), tsunami 「津波」(1897), tycoon 「大君」(1857), yen<sup>1</sup>, Zen 「禅」(1727)

3.1. 初版と第8版を比べただけでは、英語に借用された日本語が12語から39語へと3倍以上増えたことは理解できても、全体的な傾向まではまだはつきりつかめない。大沢 (1989:252-254) では第5版～第7版から任意

に選んだ14語を比べているが、ここでは初版、第4版から現行の第8版までに収録された日本語を次にまとめてみた。なお、POD とかなり緊密な関係にある COD 第8版が POD 第8版の2年前の1990年に刊行されているので、これに収録された日本語も参考のために挙げておく。さらに、アメリカには POD に匹敵する小型英語辞書がないので、COD と同じ規模の中型英語辞書の代表として *WNCD*<sup>9</sup> (1983) *WNWD*<sup>3</sup> (1988) も適宜参照する。

3.2. 一覧表の符号で (+) は主見出し、(+' ) は追い込み見出しとして、また (+") は補遺の部分にそれぞれ収録されていることを示し、(-) は収録されていないことを示す。

表 2

	初版	4版	5版	6版	7版	8版	COD <sup>8</sup>
banzai	-	+"	+	-	-	-	+
bonsai	-	-	-	+	+	+	+
daimio	+	+	+	-	-	-	-
dan	-	-	-	+	+	+	+
futon	-	-	-	-	-	+	+
geisha	+	+	+	+	+	+	+
go <sup>2</sup>	- <sup>12)</sup>	-	-	+	+	+	+
haiku	-	-	-	+	+	+	+
hara-kiri	+	+	+	+	+	+	+
ikebana	-	-	-	-	-	+	+
jīricksha,	+	+	+	-	-	-	-
rickshaw	+	+	+ <sup>13)</sup>	+	+	+	+
judo	-	-	-	+	+	+	+
judoist	-	-	-	+'	+	-	+'

judoka	-	-	-	+	-	-	-
ju-jutsu	+	+	+	+ <sup>14)</sup>	+	+	+
kakemono	-	+	+	-	-	-	+
kamikaze	-	-	-	+	+	+	+
karaoke	-	-	-	-	-	+	-
karate	-	-	-	+ <sup>15)</sup>	+	+	+
kendo	-	-	-	-	+	+	+
kimono	-	+	+	+	+	+	+
mikado	+	+	+	+	+	+ <sup>15)</sup>	+
netsuke	+	+	+	+	-	-	+
Nikkei index	-	-	-	-	-	+	-
Nip	-	-	-	+	+	+	+
Nippon	-	-	-	+	-	-	-
Nipponese	-	-	-	-	+	-	+
Noh	-	-	-	+	+	+	+
obi	-	+	+	-	-	-	+
origami	-	-	-	+	+	+	+
sake <sup>2</sup>	-	-	-	+	+	+	+
satsuma <sup>17)</sup>	-	-	-	+	+	+	+
samurai	+	+	+	+ <sup>15)</sup>	+	+	+
Shinto	+	+	+	+	+	+	+
Shintoism	-	-	-	+	+	+	+
Shintoist	-	-	-	+	+	+	+
shiatsu	-	-	-	-	-	+	+
skimmia	-	-	-	-	-	+	+
soy	+	+	+	+	+	+	+
sumo	-	-	-	-	-	+	+
sushi	-	-	-	-	-	+	+

tempura	-	-	-	-	-	+ <sup>19)</sup>	+
tofu	-	-	-	-	-	+	+
tosa	-	-	-	-	-	+	-
tsunami	-	-	-	-	-	+	+
tycoon	-	+	+	+	+	+	+
yen <sup>120)</sup>	+	+	+	+	+	+	+
Zen	-	-	-	+	+	+	+

3.3.1. 上の表を見れば、日本語から英語に採用された語は第6版と第8版で様変わりしていることが分かる。また、第8版で新たに収録された語は、その2年前に刊行されたCOD<sup>8</sup>とほぼ共通しているが、これはPODとCODが同じコンピュータのデータベースを用いたためであろう<sup>21)</sup>。

3.3.2. 試しに初版、第6版、第8版に収録された日本語を分野別に分けると、次のようになる。

表 3

	初版	6版	8版
政治・経済	1	4	4
社会・生活	4	6	13
歴史・文化	5	13	12
伝統芸能	1	2	3
スポーツ	1	6	5
動植物	0	0	2
計	12	31	39

特に、社会・生活の分野の語彙が増えているのは注目できるが、その他はいちおう各分野にまたがっている。ただ、具体的に見ると、「能」があ

るのに「歌舞伎」がない、「土佐犬」があるのに「秋田犬」が見当たらない。「てんぷら」があれば「刺身」や「焼き鳥」も入れて欲しいという気がしてならない。

3.4.1. 表2のなかで語源の表示が代わったり、新たに用法指示ラベルが付いた場合は、それぞれ注の個所にその旨記した。しかし、引き続き収録された語の場合でも、語義や語源解説に変化が見られるケースがある。

3.4.2. 語義に変化が見られる例は次のとおりである。

bonsai (6版) (Method of growing) artificially dwarfed plant.

(7版) dwarf tree or shrub; art of growing these.

(8版) 1 dwarfed tree or shrub. 2 art of growing these.

geisha (5版まで) Japanese dancing-girl.

(6版以降) Japanese woman trained to entertain men.

ju-jutsu (5版まで) Japanese art of wrestling &c.

(6・7版) Japanese system of unarmed combat using opponent's strength and weight to his disadvantage.

(8版) Japanese system of unarmed combat and physical training.

kimono (6版) Long loose Japanese robe; European dressing-gown modelled on this.

(7版) long loose Japanese robe worn with sash; European dressing-gown modelled on this.

(8版) 1 long sashed Japanese robe. 2 similar dressing-gown.

netsuke (5版まで) Carved buttonlike ornament worn by Japanese.



(6版) Carved ornament worn in Japanese dress to suspend articles from belt.

例えば, ju-jutsu も「日本式のレスリング」というような第5版までの語義では西洋人に理解されないが, 次の版では一応簡潔な説明となっているように, だいたい第6版を境目として語義が改善されていることが見てとれる。語義が複数ある場合は, 第8版のように番号で区切ると分かり易い。

3.4.3. 語源解説で変化が見られるのは次のとおりである。

hara-kiri (4版まで) [Jap.]  
 (5版以降) [Jap. *hara* belly, *kiri* cut]  
 satsuma (6版) [place]  
 (7版以降) [*Satsuma*, province in Japan]

両者を比べれば, やはり新しい方が一般の読者には親切である。

4. POD 各版に収録されたすべての日本語を調査した結果, karaoke や Nikkei index に象徴される日本独自のユニークな, しかも新しい日本の文化や経済の分野に属す単語が英語に採用されたことと, 他方, 古くからあるものであっても, 例えば Noh, sake<sup>2</sup>, soy など世界に知られている語であればいざしらず, 依然として hara-kiri, ju-jutsu, kamikaze, mikado, rickshaw, samurai, tycoon といった古びた日本語がそのまま新しい版でも受け継がれていることの関連性が見当たらない。この種の日本語は特殊な分野でしか用いないのだから, 中型以上の英語辞書に収録すればよいのであり, 何もスペースの限られた小型の英語辞書に入れる必然性はないのである。

第8版のコンセプトは「情報をいっそう引き易く, 分かり易いものにす

る (making information easier to find and easier to understand<sup>22)</sup>)である。したがって、それらの単語を載せるぐらいなら、もっと現代に見合う語があるはずではないか。例えば, kabuki「歌舞伎」, kanji「漢字」, nisei「二世」, pachinko「パチンコ」, sashimi「刺身」, suki-yaki「すき焼き」, yakitori「焼き鳥」などを入れるべきと提言したい。これらのうち最後の yakitori を除いたすべてが、実は COD<sup>2)</sup>に収録されているのである。

#### Dictionaries Used

*The Pocket Oxford Dictionary of Current English*, compiled by F.G.

Fowler & H.W.Fowler. 1924. Oxford at the Clarendon Press.

————— : Fourth Edition,

Revised by H.G.Le Mesurier and E.McIntosh. 1942,1952.

————— : Fifth Edition,

Revised by E.McIntosh. 1969.

————— : Sixth Edition,

Edited by J.B.Sykes. 1978.

————— : Seventh Edition,

Edited by R.E.Allen. 1984.

————— : Eighth Edition,

Edited by Della Thompson. 1992.

*The Concise Oxford Dictionary of Current English* : Eighth Edition,

Edited by R.E.Allen. 1990. Oxford: Clarendon Press.

*Webster's Ninth New Collegiate Dictionary*. 1983. Springfield: Merriam-Webster.

*Webster's New World Dictionary of American English* : Third College Edition. 1988. New York: Webster's New World.

## Notes and References

- 1) もうひとつ *POD* の特色として、約80項目におよぶ言語百科辞典的記述を挙げた人も多い。福原麟太郎. 1956. 「英語辞書の話」『新英語教育講座』(改訂版) 第1巻, pp.1-65. 東京: 研究社; 国広哲弥. 1960. 「*POD* の特色二つ」『英文法研究』Vol. 4, No.6, pp.17-19. 東京: 研究社; 永嶋大典. 1974. 「英米の辞書—歴史と現状」 pp.131-132. 東京: 研究社.
- 2) 序文 (PREFACE TO THE SIXTH EDITION) に ‘This sixth edition ... represents a thorough revision, ...’ とある。
- 3) Sykes, J.B. 1979. “From A to Zen — The Revision of the Concise and Pocket Oxford Dictionaries.” 『英語青年』 Vol.125, No.5, pp. 12-15. に改訂の意図が述べてある。
- 4) 加藤知己. 1978. 「Scientific Sykes」 『英語青年』 Vol.124, No.7, p. 376; 小島義郎. 1984. 「ファウラー兄弟と *COD*, *POD*」 『英語展望』 84秋季号, pp.46-51; 南出康世. 1985. 「英語辞書学の新しい動向」 『現代英語教育』 Vol.21, No.10, pp.28-30; 大沢ふよう. 1989. 「*POD* 第7版の分析」 『英語辞書の比較と分析』 第3集. 東京: 研究社.
- 5) 今里智晃. 1982. 「辞書の改訂—*POD*<sup>5</sup>, *POD*<sup>6</sup>を比較して—」 『紀要』 第4号, pp.32-51. 秦野: 上智短期大学; 1992. 「見出し語から見た *POD* 第8版」 『言語文化研究』 Vol.18, pp.50-61.
- 6) 但し, *tycoon* は第4版では (U.S.colloq.) とスピーチレベルの表示がついている。つまり, 初例が1857年で, 初代駐日総領事として1856年に来日し, 幕府との間に修好通商条約を結んだアメリカの外交官タウンゼント・ハリス (Harris, Townsend. 1804-78) の日記に記されたものであるから, この単語はアメリカ英語経由でイギリスに伝わったことが分かる。
- 7) 他に variant として *rickshaw* が主見出し語 (但し, 語義なし) になっ

- ている。そして第6版以降はこちらの方が残り、jinricksha は削除されている。
- 8) つまり、語源は中国語に遡るが、日本語として英語に借用されたという意味。
  - 9) 初出年不詳。
  - 10) 初出年不詳。日本経済新聞社が独自に出している指標を示す用語で、例えば日本の通貨である円のドルに対する価値や東京証券取引所の平均株価を1990年を100とした場合、現在はいくつになるかという具合に使う。
  - 11) Shintoism, Shintoist とともに第6版以降、追い込み見出し語として収録。
  - 12) go<sup>2</sup>「囲碁」が収録されるのは第6版以降だが、その代わりと言うべきか初版から第5版までは gobang「碁盤」という語が載っている。語義では「チェッカーに似た日本のゲーム」と記述しながら、語源は [Chin.] となっている。
  - 13) rickshaw は、第5版まではあくまで jinricksha, -rikisha の variant に過ぎなかった。
  - 14) 英米人には ju-jitsu が発音しにくいのか、第6版以降、ju-jitsu の綴りが採用されている。
  - 15) karate と並んで kung fu「カンフー」も同じ第6版から収録された。語義が「中国式空手」となっているのは面白い。
  - 16) 初めて (*hist.*) という用法指示ラベルが付けられた。しかし、これに代わるべき tenno「天皇」は COD<sup>8</sup>にあるだけで、WNCD<sup>9</sup>やWNWD<sup>3</sup>にも見当たらない。
  - 17) 但し、Satsuma と大文字の場合は「薩摩焼」の意味で、OED には1880年に初例がある。つまり、「温州みかん」の意味より早い。
  - 18) 初めて (*Hist.*) という用法指示ラベルが付けられた。
  - 19) 「てんぷら」は日本の代表的な料理のひとつであるし、tempura が日本語から英語に借用されたのは確かであるが、そもそも tempura

という語はポルトガル語 *tempero* 「風味」に由来するとされている。したがって、*POD*<sup>8</sup>、*COD*<sup>8</sup>さらには *WNCD*<sup>9</sup>も語源については日本語としているが、正確には、*WNVD*<sup>3</sup>のように [Jpn.<!Port.] とすべきで、そうすればこの単語がヨーロッパへ逆輸入されたことが分かる。

- 20) 初版から第5版まで語源は [Chin.] となっているが、第6版以降 [Jap.f.Chin.] と訂正されている。
- 21) *POD* の「第8版の序文」(Preface to the Eighth Edition) 参照。
- 22) 「第8版の序文」。

## The Japanese Words Adopted into *The Pocket Oxford Dictionary*

Chiaki IMAZATO

This paper aims to give a comparative analysis of the six *POD* editions on the basis of the Japanese words adopted into them. There have been many words borrowed from Japanese into English. For example, *bonze* and *sake*<sup>2</sup> were naturalized in English a long time ago. The new 1992 edition of *The Pocket Oxford Dictionary* contains 39 Japanese words, some of which are *futon*, *ikebana* and *sumo*. But, needless to say, *karaoke* must be one of the latest examples we can see in English dictionaries that are of Japanese origin.

The first edition of the *POD* contained only twelve Japanese words, and most of them are now still alive. It is quite natural that the original editors should have thought of the words which had an exotic atmosphere as important. According to 'Preface to the Seventh Edition,' however, the editors were prepared to emphasize 'clarity and ease of use.' The eighth edition undoubtedly took the aims of the seventh edition towards 'making information easier to find and easier to understand.'

Then, has the *POD* changed much not only in the choice of the Japanese words but in the description of their meanings and etymology in its eight editions? Of course, it is very difficult to decide which words to select and which to delete, for the choice of vocabulary so often characterizes the dictionary itself.